

# みんなくりポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

SER no.080; Cover, contents, and others

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-03-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10502/3942">http://hdl.handle.net/10502/3942</a>

Senri Ethnological Reports  
**80**

SEIR  
80

国立民族学博物館  
調査報告

**80**

**An Anthropology of the Street  
Volume 1**

ストリートの人類学

上巻

関根康正  
編

**ストリートの人類学 上巻**

Edited by  
**Yasumasa Sekine**

関根康正 編

National Museum of Ethnology  
Osaka 2009

ISSN 1340-6787  
ISBN 978-4-901906-63-3 C3039



国立民族学博物館 2009

国立民族学博物館 調査報告

**80**

ストリートの人類学 上巻

関根康正 編

国立民族学博物館

**2009**

# 目 次

## ■ 上 卷 (SER 80)

### まえがき

#### 序論 「ストリートの人類学」の目標と射程

序論	関根康正	15
第1章 ケガレから都市の歩道へ	関根康正	19
第2章 「ストリートの人類学」の提唱 ——ストリートという縁辺で人類学する	関根康正	27
第3章 〈「ストリートの人類学」の提唱〉へのコメント ——場所性とマナー化の視点から	野村雅一	45

#### 第1部 問われるストリート・エスノグラフィーの方法

##### [都市の無意識を歩く作法——アレゴリーの力]

第4章 遊歩と痕跡——都市の記憶を読む技法について	近森高明	53
第5章 ストリートからみる都市の無意識	南 博文	73

##### [都市ストリートへのアプローチの変遷——「歩く者」と「見る者」の間で]

第6章 ストリートの空間論の系譜と現在 ——都市地理学を中心にして	加藤政洋	97
第7章 ストリートの現働化 ——規律—管理社会をめぐる時間地理学からの展望	加藤政洋	133

#### 第2部 今を生きるストリート・エスノグラフィーの実践

##### すれ違う権力のまなざしとストリートのまなざし

##### [路上で社会を生きる野宿者たち——男と女]

第8章 闘争空間としてのストリート ——シェルターを拒否するホームレスの日・米・英比較研究 .....	トム・ギル	149
第9章 ストリートで生きる女性たち——女性野宿者の実践	丸山里美	185

[どこにも向かわないストリートの時空——希望なき希望]

- 第10章 道草を食う  
——Twan Yang “Houseboy In India” より…………… 磯田和秀 203
- 第11章 村人たちとストリート  
——西ティモールのアナ・ボトルにみる希望…………… 森田良成 223

[社会環境を映し出す身体——見えにくい闘争の場所]

- 第12章 ストリートに育まれる身体  
——チリ・サンチャゴ市の「貧困空間」から…………… 内藤順子 245
- 第13章 リングとしてのストリート  
——化粧で武装し、化粧で紛れる人々…………… 玉置育子 271

ストリートが紡ぎ出す力——ハビトゥスとブリコラージュ

[生きる抗争場としてのストリート——文化・信仰という開かれた資源]

- 第14章 「ストリート」を経験する  
——ヒンドゥー女神バフチャラー信仰とヒジュラ…………… 國弘暁子 289
- 第15章 都市の歩道空間の聖化にみる抗争場としてのストリート  
——南インドチェンナイ市における歩道寺院を事例に…………… 関根康正 313

[都市ストリートの知と暴力のスタイル——創発的共同性に向けて]

- 第16章 ストリートで意味を生産する  
——アビジャンにおけるストリート文化の記号論…………… 鈴木裕之 327
- 第17章 隠語からプロパガンダ言語へ  
——シェン語のストリート性とその発展的変成…………… 小馬 徹 349
- 第18章 暴力の舞台としてのストリート  
——2007年～2008年ケニア・ポスト選挙暴動を事例として  
…………… 松田素二 385

■ 下 卷 (SER 81)

第3部 歴史の中のストリートとトランスローカリティ

歴史と記憶を生きる服差しから見る現代の場所性

[歴史の中のストリート概念の変遷——近代を相対化する深い場所 (垂直性)]

- 第19章 ストリートとコミュニティ  
——博多の事例から考える…………… 竹沢尚一郎 3
- 第20章 変容する社会的アリーナとしての中世ヨーロッパのストリート  
…………… ハラルド・クラインシュミット 29
- 第21章 北京の小さな橋——街角のグローバル・ヒストリー…………… 妹尾達彦 95

[変容するローカルな場所性とせめぎ合う眼差し——記憶と現在の間]

第22章 青果物卸売市場の「いま」と「あの頃」 ——新潟県長岡市の地方卸売市場における「場所性」の変容を焦点として .....鈴木晋介	185
第23章 ローカリティのあらわれの場としてのストリート ——南ドイツにおける樹木儀礼の事例から .....山田香織	213
第24章 オーストラリア・トレス海峡の2つの海 ——先住民族の「場所性」と主流社会の「正当性」.....松本博之	231
第25章 ストリートとストリーム ——ポリネシアでストリート現象を考えるための覚書 .....棚橋 訓	261

トランスナショナル・フローとローカリティの組み換え的創造

[構築される移民空間のローカリティとストリート性]

第26章 パッケージ化と脱パッケージ化との間での生きる場の創造、 あるいは「組み換えのローカリティ」 ——「資本としての知識」から「資源としての知識」への 視点の移行がもたらすもの .....関根康正	271
第27章 チャイナタウンからグローバル・シティへ ——パプアニューギニア華人にとってのストリート経験 .....市川 哲	303
第28章 『エスニック・タウン』の誕生とストリート ——ロサンゼルスのカンボジア・タウンの事例から .....朝日由実子	327
第29章 おやじといくストリート ——パリのチュニジア人たちのカフェ通いから .....植村清加	367

[ポスト社会主義状況のローカリティとストリート性]

第30章 ポスト社会主義のストリート ——モンゴル・ウランバートル市における都市空間の再編 .....西垣 有	405
第31章 ハイカルチャー化するサブカルチャー？ ——ポスト社会主義モンゴルにおけるポピュラー音楽とストリート文化 .....島村一平	431

結論と展望——なおも、〈生きられる場〉を穿つために

[ネオリベラリズムに抗する〈生きられる文化〉の創造]

第32章 覚え書き・後背地論からみたストリート .....阿部年晴	465
第33章 生活の場としてのストリートのために ——流動性と恒常性の対立を超えて .....小田 亮	489

[総括]

結章 総括 ——『ストリートの人類学』という 批評的エスノグラフィーの実践と理論 .....関根康正	519
--	-----



## 文 献

Africa Watch

1993 *Divide & Rule: State-sponsored Ethnic Violence in Kenya*. Human Rights Watch.

ベック, U.

2005 『グローバル化の社会学』木前利秋・中村健吾訳, 国文社。

Berman, B. and J. M. Lonsdale

1992 *Unhappy Valley: Conflict in Kenya and Africa*, I&I James Currey, London.

Butler, J.

1997 *Excitable Speech: A Politics of the Performativity*. New York: Routledge. (「触発する言葉——パフォーマンスの政治性」竹村和子抄訳『思想』892: 4-42, 岩波書店。)

Carrithers, M.

2005 Anthropology as a Moral Science of Possibilities. *Current Anthropology* 46 (3): 433-456.

Clifford, J.

2000 Taking Identity Politics Seriously. In P. Gilroy, L. Grossberg and A. McRobbi (eds.) *Without Guarantees*, pp. 94-113. London: Verso.

Hale, C. R.

2006 Activist Research v. Cultural Critique. *Cultural Anthropology* 21 (1): 96-120.

樫村愛子

2007 『ネオリベラリズムの精神分析』光文社新書。

松田素二

1997 「都市のアナーキーと抵抗の文化」『紛争と政治』(岩波講座文化人類学第6巻) pp. 95-134。

1998 「実践暴力の行方——ケニアと西成の暴動現場から」田中雅一編『暴力の人類学』pp. 251-276, 京都大学学術出版会。

2000 「日常的民族紛争と超民族化現象——ケニアにおける1997-1998年の民族間抗争事件から」武内進一編『現代アフリカの紛争——歴史と主体』pp. 55-100, アジア経済研究所。

2004 「変異する共同体」『文化人類学研究』69 (2): 247-270。

2005 「土地の正しい所有者は誰か——東アフリカ・マサイ人の土地返還要求運動の事例から」『環境社会学研究』11: 70-89, 有斐閣。

2008 「グローバル化時代における共同体の再想像について」『哲学研究』584: 1-35。

ナンシー, J=L.

2001 『無為の共同体』西谷修・安原伸一郎訳, 以文社。

小田 亮

2007 「現代社会の「個人化」と親密性の変容」『日本常民文化紀要』26 輯。

Restrepo, E. and A. Ecolbar

2005 Other Anthropologies and Anthropology Otherwise: Steps to a World Anthropologies Framework. *Critique of Anthropology* 25 (2): 99-129.

Ribeiro, G. L.

2006 World Anthropologies. *Critique of Anthropology* 26 (4): 363-386.

リツァ, G.

2005 『無のグローバル化』正岡寛司監訳, 明石書店。

- リューデ, G.  
1982 『歴史における群衆』古賀秀男他訳, 法律文化社。
- シンガー, P.  
2005 『グローバリゼーションの倫理学』山内友三郎・榎則章訳, 昭和堂。
- トムスン, E. P.  
1979 「1790年以前のイギリスにおける社会運動」近藤和彦訳『思想』663号。
- Thompson, E. P.  
1971 The Moral Economy of the English Crowd in the Eighteenth-Century. *Past & Present* 50.  
1978 *The Poverty of Theory and Other Essays*. The Marlin Press.
- Throup, D. and C. Horsby  
1998 *Multi-Party Politics in Kenya*. Ohio University Press.
- Turner, R. H.  
1964 New Theoretical Frameworks. *Sociological Quarterly* 5: 122-132.
- Turner, R. H. and L. M. Killian  
1957/1972 *Collective Behavior* (1st./2nd.edition) Prentice-Hall.
- Vallentine, C.  
1968 *Culture and Poverty: Critique and Counter Proposals*. Chicago University Press.
- 吉田竜司  
1994 「群衆行動と日常性——釜が崎第一次暴動を事例として」『ソシオロジ』39(2):75-96。

## 「ストリートの人類学」執筆者一覧 (論文掲載順)

- 関根 康正 (せきね やすまさ), 日本女子大学・人間社会学部・教授  
野村 雅一 (のむら まさいち), 総合研究大学院大学・副学長  
近森 高明 (ちかもり たかあき), 日本女子大学・人間社会学部・専任講師  
南 博文 (みなみ ひろふみ), 九州大学大学院・人間環境学研究院・教授  
加藤 政洋 (かとう まさひろ), 立命館大学・文学部・准教授  
GILL, Tom (ぎる とむ), 明治学院大学・国際学部・教授  
丸山 里美 (まるやま さとみ), 日本学術振興会特別研究員 PD/東洋大学・社会学部  
磯田 和秀 (いそだ かずひで), 成城大学・民俗学研究所・研究員  
森田 良成 (もりた よしなり), 大阪大学大学院人間科学研究科・日本学術振興会特別研究員 DC  
内藤 順子 (ないとう じゅんこ), 日本学術振興会特別研究員 PD/日本女子大学・人間社会学部  
玉置 育子 (たまき やすこ), 大阪樟蔭女子大学・学芸学部・専任講師  
植村 清加 (うえむら さやか), 成城大学・民俗学研究所・研究員  
國弘 暁子 (くにひろ あきこ), お茶の水女子大学大学院・人間文化創成科学研究所・研究員  
鈴木 裕之 (すずき ひろゆき), 国士舘大学・法学部・教授  
小馬 徹 (こんま とおる), 神奈川大学・人間科学部・教授  
松田 素二 (まつだ もとじ), 京都大学大学院・文学研究科・教授  
竹沢 尚一郎 (たけざわ しょういちろう), 国立民族学博物館・民族文化研究部・教授  
KLEINSCHMIDT, Harald (くراینしゅみット はらると), 筑波大学大学院・社会科学系・教授  
妹尾 達彦 (せお たつひこ), 中央大学・文学部・教授  
鈴木 晋介 (すずき しんすけ), 国立民族学博物館・外来研究員  
山田 香織 (やまだ かおり), 在ドイツ日本国大使館・広報文化班・二等書記官  
棚橋 訓 (たなはし さとし), お茶の水女子大学大学院・人間文化創成科学研究所・教授  
松本 博之 (まつもと ひろゆき), 奈良女子大学・文学部・教授  
市川 哲 (いちかわ てつ), 国立民族学博物館・外来研究員  
朝日 由実子 (あさひ ゆみこ), 上智大学大学院・外国語学部・博士課程  
西垣 有 (にしがき ゆう), 大阪大学大学院・人間科学研究科・日本学術振興会特別研究員 DC  
島村 一平 (しまむら いっぺい), 滋賀県立大学・人間文化学部・専任講師  
阿部 年晴 (あべ としはる), 埼玉大学・名誉教授  
小田 亮 (おだ まこと), 成城大学・文芸学部・教授



## Senri Ethnological Reports (最新号)

- No.79 A Lexicon of the rGyalrong bTsanlha Dialect: rGyalrong-Chinese-Tibetan-English (Bon Studies 12; 2009; bTsan lha Ngag dbang Tshul khirms, eds. Yasuhiko Nagano, Marielle Prins; 英語, チベット語, 中国語, 日本語)
- No.78 ポスト社会主義人類学の射程 (2009; 高倉浩樹・佐々木史郎編; 日本語)
- No.77 *Transnational Migration in East Asia: Japan in a Comparative Focus* (2008; eds. Shinji Yamashita, Makito Minami, David W. Hanes, Jerry S. Eades; 英語)
- No.76 *A Lexicon of Zhangzhung and Bonpo Terms* (2008; eds. Yasuhiko Nagano, Samten G. Karmay; 英語・チベット語)
- No.75 А.Д.Симуков Труды о Монголии и для Монголии, Том3(2) (2008; Юки Коная, Санжаасурэнгийн Баяраа, Ичинхорлоогийн Лхагвасурэн (小長谷有紀・サンジャーレン・バヤラー・イチンホルロー・ルハグワスレン) 編; ロシア語)
- No.74 А.Д.Симуков Труды о Монголии и для Монголии, Том3(1) (2008; Юки Коная, Санжаасурэнгийн Баяраа, Ичинхорлоогийн Лхагвасурэн (小長谷有紀・サンジャーレン・バヤラー・イチンホルロー・ルハグワスレン) 編; ロシア語)
- No.73 国立民族学博物館研究フォーラム 2004年インド洋地震津波災害被災地の現状と復興への課題 (2007; 林勲男編; 日本語)
- No.72 XX зууны Монголчууд /2/ – Социалист Монголын улс төрийн амьдрал (2007; И. Лхагвасурэн Коная Юки (2007; Ичинホルローギーン・ルハグワスレン・小長谷有紀) 編; モンゴル語)
- No.71 モンゴル国における 20 世紀 (2) —社会主義を闘った人びとの証言 (2007; 小長谷有紀編; 日本語)
- No.70 ベトナムの黒タイ首領一族の系譜文書 (2007; 樫永真佐夫・カム・チョン; 日本語・黒タイ語)
- No.69 グローバル化と韓国社会—その内と外 (2007; 朝倉敏夫・岡田浩樹編; 日本語)
- No.68 モノに見る生活文化とその時代に関する研究—国立民族学博物館所蔵の大村しげコレクションを通して— (2007; 横川公子・笹原亮二編; 日本語)
- No.67 А.Д.Симуков Труды о Монголии и для Монголии, Том2 (2007; Юки Коная, Санжаасурэнгийн Баяраа, Ичинхорлоогийн Лхагвасурэн (小長谷有紀・サンジャーレン・バヤラー・イチンホルロー・ルハグワスレン); ロシア語)
- No.66 А.Д.Симуков Труды о Монголии и для Монголии, Том1 (2007; Юки Коная, Санжаасурэнгийн Баяраа, Ичинхорлоогийн Лхагвасурэн (小長谷有紀・サンジャーレン・バヤラー・イチンホルロー・ルハグワスレン); ロシア語)

[ 国立民族学博物館刊行物審査委員会 ]

松園万亀雄 館長  
田村 克己 副館長  
松山 利夫 民族社会研究部  
西尾 哲夫 民族文化研究部  
関 雄二 先端人類科学研究部  
小長谷有紀 研究戦略センター (研究出版委員長)  
吉田 憲司 文化資源研究センター

平成 21 年 3 月 31 日発行

---

国立民族学博物館調査報告 80

---

編 者 関 根 康 正

発 行 人間文化研究機構  
国立民族学博物館  
〒565-8511 吹田市千里万博公園10-1  
TEL. 06(6876)2151 (代表)

印 刷 中西印刷株式会社  
〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入  
TEL. 075 (441)3155 (代表)

---